

年頭のご挨拶

お慶びを申し上げます



上ノ国町長

工藤 昇

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた輝かしい令和五年の初春を、ご家族お揃いで健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年私は町民皆様の温かいご支援のもと、悠久の歴史と伝統に輝く上ノ国町の町長として引き続き町政を担わせていただくこととなりました。

平成十四年に町長就任以来、私の町政執行の基本姿勢でもあります「わたしたち町民一人ひとりが現状を自覚し、そして一人ひとりがこの町を変えるとい

う意思を表してくれる」ということを確信し、行財政の見直しと改革を、議会、町民の皆様と手を携えて推進して参りました。この間、皆様からいただきました深いご理解と、絶大なるご協力に對しまして心から感謝申し上げます。

さて、過ぎし令和四年を振り返りますと、昨年二月にロシアがウクライナに侵攻を始め、今なおその状況が改善することなく継続され、多くの犠牲者が出ております。さらに最近では北朝鮮が頻繁に弾道ミサイルを日本海側に発射するなど、私たちの日常を脅かす事態も続いているところでもあります。

一方、新型コロナウイルス感染症につきましては、ウィズコロナのかけ声のもと、新しい生活様式が私たちの日常となっており、昨年の十月より全国旅行支援制度が始まるなど、少しずつではありますが希望の光が差し込んでくるように感じております。

しかし、第八波とインフルエンザの同時流行が取りざたされ、予防対策の徹底を図って参りますので、町民皆様におかれましては、マスクの着用、うがい手洗い、手指消毒、三密防止などの感染予防対策を徹底くださいますようお願い申し上げます。

すようお願い申し上げます。

また、経済面では、新型コロナウイルス感染症とウクライナ情勢も相まって、世界経済は先行き不透明な情勢となり、昨年三月から円安の状況が続く、九月には実に二十四年振りに円安水準を更新するなど、私たちの生活に多大な影響を与えており、企業の設備投資や雇用状況が悪化し、失業者の増加、労働実質賃金や個人消費の低迷に加え、原油高騰や物価上昇など、経済の低迷は避けられない状況が当面続くものと考えられます。

社会面では、八月三日からの大雨と台風八号が日本を縦断したことにより人的被害は少なかったものの、日本全国で七千を超える家屋の被害が発生し、本町においても土砂災害によって、国道、道道が一時通行止めとなるなどの被害が発生しました。

また、檜山北部では観測史上最大の降水量を記録し、多大な被害をもたらしており、改めて自然の驚異を痛感した一年であったと感じております。

スポーツ面では、中国北京で開催されました冬季オリンピックで、日本のメダル数はスキージャンプの小林陵侑選手をはじめ、金銀銅が三、六、九個と合計十八個ものメダルを獲得